


M-Prep Conditioner A – Metal Cleaner

1. セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1	製品識別名	
	製品名	M-Prep Conditioner A – Metal Cleaner
	化学物質名	混合物。
	CAS 番号	混合物。
	EINECS 番号	混合物。
	REACH登録番号	割り当てられていない。
1.2	化学品の推奨用途と使用上の制限	
	記載されている用途	PC14 金属表面処理用製品 (電気めっき用製品を含む)
	~ に対して助言された用途	知られていない。
1.3	供給者の詳細	
	会社情報	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire RG24 8FW United Kingdom
	電話	+44 (0) 1256 462131
	F a x	+44 (0) 1256 471441
	E メール(担当者)	mm.uk@vishaypg.com
1.4	緊急連絡用電話の番号	(00-1) 703-527-3887 CHEMTREC

2. セクション 2: 危険有害性の要約

2.1	物質または混合物の分類	
2.1.1	欧州CLP規則 (No.1272/2008)	金属腐食性物質 区分 1; 金属腐食のおそれ。
2.1.2	指令 67/548/EEC および規則(1999/45/EC)	供給/使用に対して危険物に分類されていない。
2.2	表示要素	欧州CLP規則 (No.1272/2008) によれば
	製品名	M-Prep Conditioner A
	危険性を表す絵文字	

注意喚起語

警告

改訂: 1.2 日付: 07.01.2016

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

危険有害性情報

H290: 金属腐食のおそれ。

危険有害性情報

P234: 他の容器に移し替えてはならない。

P390: 物質被害を防止するため漏洩物を吸収する。

2.3 他の危険有害性

なし。

3. セクション 3: 組成/成分情報

3.1 物質 製剤/混合物中の物質

3.2 混合物

EC 分類 欧州 CLP 規則 (No.1272/2008)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	危険有害性情報
Phosphoric Acid	<6	7664-38-2	231-633-2	Skin Corr. 1B; H314
Distilled Water	>94	7732-18-5	231-791-2	分類されていない。

指令 67/548/EEC および規則(1999/45/EC)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	EC 分類 と リスク警句
Phosphoric Acid	<6	7664-38-2	231-633-2	C, R34: 火傷を引き起こす。
Distilled Water	>94	7732-18-5	231-791-2	分類されていない。

4. セクション 4: 応急処置



4.1 応急処置の説明

吸入

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚接触

石鹼と水で皮膚を洗う。皮膚が刺激された場合: 医師の診断/手当てを受けること。

目の接触

まぶたを開けたまま、水で 15 分以上洗眼すること。目の刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受けること。

摂取

水で口中を洗い、200-300mL(1/2 pint)の飲み水を与える。無理に吐かせない。症状がすすんだ場合、医師の治療を受ける。

4.2 最も重要な症状および作用 (急性および遅発性)

目、皮膚、気道を刺激することがある。

4.3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態

必要とは思われないが、必要であれば症状に基づいて処置する。

5. セクション 5: 火災時の措置

- 5.1 消火剤
適切な消火剤 周辺の火災に適切な。
不適切な消火剤 知られていない。
- 5.2 当該物質または混合物に起因する特別な危険性 アルミニウム、マグネシウム、および亜鉛を含む金属類と反応することがあり、酸化リンの発生につながります。
- 5.3 消防士へのアドバイス 消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。

6. セクション 6: 漏出時の措置

- 6.1 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置 危険がなければ漏出を遮断する。適切な換気を確保する。保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。
- 6.2 環境的予防措置 非希釈、非中和の状態下水に排出しないこと。
- 6.3 封じ込めと清掃のための方法および資材 物質被害を防止するため漏洩物を吸収する。漏洩物は不活性吸収材で覆うこと。廃棄用の容器に移す。残余物を慎重に中和し、次に、大量の水で洗い流すこと。
- 6.4 他のセクションの参照先 次の項を参照: 8, 13

7. セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

- 7.1 安全な取り扱いのための注意事項 適切な換気を確保する。保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。蒸気の吸入を避ける。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。取扱後は手を完全に洗うこと。本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行なってはならない。
- 7.2 安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)
保管温度 <27°C
保管期間 普通の状態で安定。
混触危険物質 アルミニウム、マグネシウム、および亜鉛を含む金属類と反応することがあり、酸化リンの発生につながります。
- 7.3 具体的最終用途 PC14 金属表面処理用製品 (電気めっき用製品を含む)

8. セクション 8: 暴露防止及び保護措置

8.1 管理指標

- 8.1.1 職業暴露限度 確立されていない。
- 8.1.2 生物学的限界値 確立されていない。
- 8.1.3 PNEC および DNEL 確立されていない。

8.2 暴露管理

- 8.2.1 適切な工学的管理 職業暴露限度を超過しないように (適切な局所排気を含む) 適切な排気をする。
- 8.2.2 個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置 通常、呼吸用保護具は必要ない。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。きれいな水の入っている洗眼液の瓶を携帯する。

目/顔面の保護



側板付き保護めがね (EN166) を着用すること。

皮膚の保護



不浸透性手袋を着用すること。耐薬品エプロンを着用すること。

呼吸器の保護



通常、呼吸用保護具は必要ない。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

熱の危険性

該当なし。

8.2.3 環境暴露コントロール

環境に排出しないようにする。

9. セクション 9: 物理的および化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性についての情報

外観	透明な。
におい	無臭。
臭いの閾値	資料なし。
pH	資料なし。
融点/凝固点	資料なし。
初留点と沸騰範囲	~100°C
引火点	該当なし。
蒸発速度	該当なし。
燃焼性 (固体、ガス)	非引火性。

改訂: 1.2 日付: 07.01.2016

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

上限/下限可燃性または爆発限界	該当なし。
蒸気圧	資料なし。
蒸気密度	資料なし。
相対密度	~1-1.1 (H ₂ O = 1) (混合物。)
溶解度	水に溶解。
分配係数: n-オクタノール/水	資料なし。
自然発火温度	該当なし。
分解温度	資料なし。
粘度	資料なし。
爆発性	資料なし。
酸化性	非酸化性。
9.2 その他の情報	なし。.

10. セクション 10: 安定性および反応性

10.1 反応性	普通の状態安定。
10.2 化学的安定性	普通の状態安定。
10.3 危険な反応の可能性	アルミニウム、マグネシウム、および亜鉛を含む金属類と反応することがあり、酸化リンの発生につながります。
10.4 避けるべき条件	知られていない。
10.5 混触危険物質	アルカリ性物質、および塩素を含む物質。
10.6 危険有害性分解生成物	リン酸化物。燃焼または熱分解により、有毒な刺激性蒸気が発生する。

11. セクション 11: 有害性情報

11.1 毒性に関する情報 (製剤/混合物中の物質)	
急性毒性	
摂取	分類されていない。.
吸入	分類されていない。.
皮膚接触	分類されていない。.
目の接触	分類されていない。.
刺激性	分類されていない。.
腐食性	分類されていない。.
感作性	分類されていない。.
反復投与毒性	分類されていない。.
発がん性	発がん性の証拠はない。
変異原性	突然変異性を引き起こす潜在力があることを示す証拠はない。
生殖毒性	データなし。
11.2 その他の情報	なし。

12. セクション 12: 環境影響情報

12.1	毒性	海洋汚染物質として分類されていない。
12.2	残留性および分解性	容易に生分解される。
12.3	生物蓄積性	この製品は生物濃縮の可能性が低い。
12.4	土壌中の移動度	水に不溶。製品は土壌中で移動性が低いと予想される。
12.5	PBT および vPvB 評価の結果	PBT または vPvB に分類されない
12.6	その他の有害な作用	知られていない。

13. セクション 13: 廃棄上の注意

13.1	廃棄物処理法	廃棄処分は関連法(地方政府、県、国家)に従わなければならない。
13.2	追加情報	なし。

14. セクション 14: 輸送上の注意

14.1	国連番号	ADR/RID / IMDG / IATA UN 1760
14.2	適切な船積み名	CORROSIVE LIQUID, N.O.S (Phosphoric Acid)
14.3	輸送危険分類	8
14.4	輸送危険分類	III
14.5	環境に対する危険	海洋汚染物質として分類されていない。
14.6	使用者に対する特別な注意事項	分類されていない。
14.7	MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送	なし。
14.8	追加情報	なし。

15. セクション 15: 適用法令

15.1	特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律	
15.1.1	EU 規制	
	使用の承認および/または制限	なし。
15.1.2	国の規制	知られていない。
15.2	化学物質安全性評価	資料なし。

改訂: 1.2 日付: 07.01.2016

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

16. セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1-16.

参考文献: 既存の安全データシート(SDS) と既存の ECHA 登録 Phosphoric Acid (CAS# 7664-38-2).

物質または混合物の分類 欧州 CLP 規則 (No.1272/2008) によれば	分類手順
金属腐食性物質 区分 1; H290	自己分類: 閾値計算

注釈

LTEL	長期暴露限界
STEL	短時間暴露限界
DNEL	求められた無影響量
PNEC	推定無影響濃度
PBT	PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性
vPvB	vPvB: 高難分解性、高毒性

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順に関わることや将来的な被曝の程度に影響を及ぼします。

免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取り願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件 (法的なあるいはそうでない) はございません。Vishay Precision Group は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません (欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き)。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。

拡張安全性データシート(eSDS) の付録

利用可能な情報なし。